

路面滞水処理作業の効率化を目指した自走式路面乾燥機

鹿島道路(株)

業績の概要

床版防水層と呼ばれる耐久性の高い床版防水工法という施工の際、適切な前処理が必要であり、特に路面の水分状態に応じた適切な乾燥方法が求められている。

そこで、路面を直接炙り加熱することにより乾燥させるのではなく、一定の幅に熱風を吹き付け、乾燥度合いの平均化や作業効率の向上、既設舗装の劣化を緩和させるため、路面乾燥に特化した専用の路面乾燥機を開発した。

業績の特徴

本機はホイール式アスファルトフィニッシャのトラクタ部を流用し、そのデッキに、プロアと熱風発生機、燃料タンク及びエンジン発電機を搭載している。シンプルな構造

ゆえオペレータにとって操作が容易である。プロアから最前列に設けたナイフエッジノズルに大量のエアを送り込むことにより、路面滞水とごみを吹き飛ばし、続いて約200℃の熱風を吹き付ける熱風チャンバが通過することで、効率良く路面を乾燥させる仕組みとなっている。本体の走行性能は、母体となっているアスファルトフィニッシャに準じ、一定速度での走行が可能である。また、ナイフエッジノズルと熱風チャンバは油圧シリンダーにより左右300mmずつスライドさせることができるため、本体幅よりも外側にオフセットさせた状態で乾燥作業が可能である。回送時には、ナイフエッジノズル及び熱風チャンバを、並行リンク機構によって上昇させたためにより、セルフトレーラで回送することができる。

